



2012-13 年度 R I のテーマ「奉仕を通じて平和を」
 R I 会長 田中 作次 (Peace Through Service)
 八戸南ロータリークラブ会報
 例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル



ガバナー 松本 康子 会長 熊谷 道雄 幹事 伊藤 斉 会報委員長 山子 則男
 ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
 RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org>

第 1812 回例会記録 ロータリー財団委員会担当例会
 2012 年 11 月 29 日 (木) 点鐘 12：30

レポート NO.1262

1812 回例会要旨

- ・ 会長要件
- ・ 幹事報告
- ・ 各委員会報告 (出席、親睦)
- ・ ロータリー財団委員会担当例会

会長要件 熊谷会長

今日はゆっくりの食事タイムで雑談に花が咲いたと思います。ガバナー月信をご覧ください。ありがとうございます。あるが 3 分の 1 位。そういう私も会長になる前は見たことがありません。南 R C のホームページ、その他・リンクとあるところから行けます。ガバナー月信は紙で作らない。全 2 3 ページ、結構な量です。ロータリーの友は全世界のロータリー情報で、月信は 2 8 3 0 地区の情報と言うことで理解できると思います。1 0 月号も 2 3 ページ厚さも片面印刷ですが、R の友と同じくらいです。回覧しますので見てください。



今月はロータリー財団月間で、榊委員長から財団の話をしていただきます。月信 1 0 月号の後ろの方に R 財団と米山寄付の名簿が載っています。びっくりしたのは半分が南 R C の会員でした。P H F が私と榊会員、M P H F は石橋一男会員と長嶺会員、ベネファクターが黒田会員、大口寄付者、黒田会員でした。また米山功労者マルチプルが鈴木会員です。半分が南 R C の会員で誇らしい感じです。今日のお話、榊さんよろしくお願いします。

幹事報告 伊藤幹事

- * クリスマス例会の出欠が回っています。
- * 来週は年次総会です。
- * 財団のレートは 1 ドル 8 0 円です。よろしくお願いします。



ニコニコ・ボックス 平光親睦委員

出席報告 吉田出席委員長

正会員 45 名出席免除会員を除く会員 36 名中
 本日の例会は免除会員 2 名を含む 27 名出席率 71%
 前々回例会：メ-キャップ 1 名出席率 78%

榊会長：榊財団委員長、今日はよろしくお祈いします。

伊藤幹事：榊財団委員長、今日はよろしくお祈いします。

村上会員：榊財団委員長よろしくお祈いします。

平光会員：榊財団委員長よろしくお祈いします。

榊会員：ロータリー財団例会です。今日はよろしくお祈いします。

ロータリー財団委員会担当例会 榊委員長

財団担当として、今日の例会は来難かったですが、会長より入りやすい雰囲気を作って頂きました。資料



を 3 部用意しました。12 月 15 日に地区の財団セミナーがありますのでその後だと説明もできるのですが、私自身が勉強して理解しなければならぬことでした。入会 2、3 年ではわからなかった、財団の基本の資料を事務局よりもらいまとめましたので、それを発表させていただきます。

ロータリー財団を支援する 5 つの理由として、世界で良いことをする方法が数多く存在するように、ロータリー財団を支援する方法もたくさんあります。財団に寄付をすることで、財団の 6 つの重点分野を支援し、「健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにする」という財団の使命を支えることができます。「毎年あなたも 100 ドルを」推進活動を通じて毎年財団に 100 米ドルを寄付する会員は、「財団の友」会員となります。「毎年あなたも 100 ドルを」寄付は、財団のプログラムの主な資金源となっています。以下に例を紹介しています。5 つの理由として 5、飢餓と

の闘い 4. 子どもの死亡率の削減 3. 平和と紛争解決の推進 2. 基本的教育と識字率向上 1. ポリオの撲滅。とこのようなものに使われております。

実は私は勘違いをしておりました。会費が使われているかと思っていました。クラブの活動は5つで（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕）地域の活動に対応しているのです。会費の中身は例会の食事代が半分くらいで、地区の分担金などもあります。世界的視野のものはここではなく改めて自ら寄付をして、財団で使えるようになるのです。

「毎年あなたも100ドル」は2001年の規定審議会で100周年までに毎年と決議され、その後2004年の規定審議会でも決議されてきたのです。災害で困っている人の為、1人100ドル。今のレートですと8,000円です。それらが集まり運用しているということです。

資料2ページ真ん中にロータリー財団の定義が書いてあります。財団は1917年基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられ、1931年信託組織になり、1983年イリノイ州法令の下に非営利財団法人ができました。ロータリー財団管理委員会は慈善的、教育的な目的にのみ運営するものです。このような組織だと私は分かりませんでした。

2004年手続き要覧の中にどのように管理されているかが書いてあります。『管理委員会は、世界中のロータリアンやほかの支援者から受け取った資金がロータリアンの懸命な努力と献身的な支援による自発的寄付であると認識している。これらの寄付者は寄付金が寄付の趣旨に沿って効果的に使われるものと理解し、信頼し、ロータリー財団に寄付金を委ねたのである。したがって管理委員会はこれらの資金の管理責任者として、ロータリー財団プログラムに関連のある活動において適切な財務運営が行われることの重要性を強調している。資金が目的に沿って効果的に使われるようにするために、管理委員会は、プロジェクトの実施に携わる地区、クラブ、ロータリアンの誠実さに頼っている。何か不当なことが耳にはいれば管理委員会は速やかに調査し、適切な処置を講ずる。』このように厳密に活用が決まっています。提唱者はアーチ・クラフで、1917年アトランタの国際大会で提案、ロータリー財団のスタートになります。この方の生い立ちは資料に書いてあります。

寄付の種類には年次寄付と恒久基金があります。年次寄付は毎年続けられ3年後のプログラムに寄付金が使われます。100ドル寄付することでロータリー

財団の友となり、1,000ドルでポールハリスフェロー（PHF）となります。恒久基金は将来の新たなプログラムの為の基金であり、通常1,000ドルでベネファクター（後援者）としてポール・ハリスフェローピン又は他の適切なピンとともに着用できるバッジと認証が受け取ることができます。

3ページのポールハリスソサエティは1999年より毎年1,000ドルの年次寄付、使途指定寄付をする人を認証するプログラムで、日本でも2005年にスタートし、2006年より財団の公式認証プログラムとなりました。大口寄付者は寄付の種類を問わず年次寄付、使途指定寄付、恒久基金寄付の合計で10,000ドル以上寄付した方を大口寄付者と言います。

以上財団の歴史的流れと寄付の項目についてお話しをしました。まとめとして（5）寄付と認証の表を説明します。（略）最後に財団の寄付としてを読み上げます。『ロータリー財団への寄付は自発的なものである。したがって財団への寄付を会員資格の条件とする事を入会申込書に書き入れてはならない。』あくまでも自発的、善意的なもので強要してはならないのです。『但しガバナーは地区ロータリー財団委員会、地区協議会などの正規の経路を通じてロータリアンとロータリークラブによるロータリー財団への年次寄付の重要性を強調するよう推奨されている』とあります。委員長の役目として財団の趣旨をお話して、寄付をお願いしなければならなかった事が今回の勉強で分りました。保険は相互扶助といえます。1人は万人の為、万人は1人の為との考え方です。財団の趣旨も世界的視野の相互扶助と考えればと思います。一人100ドルと言う事で、皆様ご寄付をお願いいたします。

